

復興ありがとうホストタウンへの取組みについて

1. 取組方針

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を活かした国際性豊かな人材の育成・文化スポーツの振興・地域の活性化と魅力の発信
- 英国関係者・関係機関等とのつながりを最大限に活かした効果的な取組の推進

※復興ありがとうホストタウンとは…

国が、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体のうち、これまで支援していただいた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行うホストタウンを「復興『ありがとう』ホストタウン」として認定・登録

2. 主な取組の概要

【これまでの主な取組】

- 英国ウィリアム王子が本市のスマイルキッズパーク（後の愛称「プリンス・ウィリアムズ・パーク」）を来訪
- プリンス・ウィリアムズ・パーク内に英国庭園を整備
- 英国庭園と福島庭園（ロンドン市内）の間にケンジントン&チェルシー王立区と姉妹庭園の協定を締結
- ロンドンで英国オリンピック委員会・英国パラリンピック委員会と意見交換
- 英国オリンピック委員会最高経営責任者（CEO）の招聘
- 英国庭園フラワーフェスティバルにおいて「もとみやグッドウィルアンバサダー（もとみや国際交流親善大使）」に英国関係者等の4名を委嘱
- ロンドンにおいて「未来へつなげるもとみや英国訪問団 2019」の生徒が英国学校2校の生徒と交流
- ロンドン郊外でリオ五輪カヌー競技の金メダリストと英国訪問団が交流
- ラグビーワールドカップ（東京スタジアム）でイングランドの応援ツアーを実施

【今後（2020年以降）の主な取組】

- 3月28日に本宮（ゴール地点：英国庭園）で実施される聖火リレーの盛り上げイベント等を実施
- スポーツ大会等をはじめとする市内各種イベントにおける気運の醸成
- オリパラ大会期間中における観戦・応援機会の創出（応援ツアー、コミュニティライブサイト・パブリックビューイング等の実施）
- 英国生徒の招聘との交流事業の実施（※詳細は、[参考資料](#)のとおり）
- 東京有明武蔵野大学キャンパス内に設置される「ホストタウンハウス」においてPR活動を実施
- 英国のオリンピック委員会・パラリンピック委員会・オリンピック・パラリンピアンなど英国関係者等の招聘

2020年における英国生徒との交流について

1 目的・概要

復興ありがとうホストタウンの取組として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて英国学校の生徒を招聘し、市民・生徒と様々な交流事業を行う。このことにより、本市の国際性豊かな人材育成を図るとともに、台風19号による災害からの復興と地域活性化につなげる。

2 時期

令和2（2020）年9月1日（火）～9月4日（金）※5日（土）出国

3 交流相手校及び予定人数

ダヴェナント・ファウンデーション・スクール 生徒15人、引率者3名程度

※ 英国オリンピック委員会及び英国パラリンピック委員会の教育プログラム「ゲット・セット」の参加校で、本年7月に、未来へつなげるもとみや英国訪問団2019が英国ロンドン市内で交流を行った学校

4 主な内容

本市への滞在期間中、歓迎セレモニー、生徒間の教育文化交流、夕食交流会等を行う。また、市内生徒が同行し、東京2020オリパラ期間中東京台場に設置される「ホストタウンハウス（全国ホストタウンPRスポット）」を共に訪問するとともに、パラリンピック陸上競技を観戦・応援する。

（想定している取組）

- ①歓迎セレモニー（プリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園内を想定）
- ②生徒間教育文化交流
- ③夕食交流会
- ④ホストタウンハウス訪問（東京台場武蔵野大学有明キャンパス内）
- ⑤パラリンピック競技観戦・応援（東京オリンピックスタジアム）

※①～③は市内で実施（もとみや青年会議所等との連携を想定）、市内滞在時の宿泊は、市内の農家民宿やホテルの利用を想定

④・⑤は東京都内で、市内生徒が同行

5 今後の予定

上記の内容については、現在、英国オリンピック委員会、ダヴェナント・ファウンデーション・スクールと三者で調整中（12月23日現在）。また、今後庁内や関係団体等とも協力体制などについて協議・調整を行うとともに、東京2020オリパラ期間中に本市が実施する各種事業と連動させながら、効果的な事業を展開させていきたい。